

特別会計 目的を特定した事業収入と支出を 区別して経理する会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	61億3,092万円	61億1,888万円
後期高齢者医療	8億2,041万円	8億1,943万円
介護保険	76億3,017万円	74億8,604万円
栗野地区農業集落排水処理事業	1,710万円	1,411万円
工業団地	1億6,568万円	7,369万円
月舘宅地造成事業	772万円	50万円
財産区(12区)	1,785万円	970万円

基金 市の貯金はどのくらい？

基金は、将来の負担を減らし、普通交付税の縮減や施設の老朽化などに対応するため、計画的に積み立てと取り崩しを行っています。

基金の額

基金名	令和2年度末残高
財政調整基金	25億8,014万円
減債基金	8億6,338万円
地域創造基金	34億5,893万円
公共施設維持整備基金	18億5,446万円
教育施設整備基金	14億1,596万円
その他	14億9,091万円
一般会計基金計(A)	116億6,379万円
特別会計基金計(B)	11億1,662万円
合計(A+B)	127億8,041万円

市債 市の借金はどのくらい？

返済金の全部または一部が国から地方交付税として配分される「合併特例債」などを活用し、**市が自己の財源で返済しなければならない借入金は、全体の3.5割程度となっています。**

市債の額

会計名	令和2年度末残高
一般会計	411億2,251万円
特別会計(工業団地造成事業)	2,150万円
公営企業会計(水道事業)	42億7,675万円
公営企業会計(下水道事業)	70億9,349万円
合計	525億1,425万円

公営企業会計 事業収入で経費をまかなう 独立採算が原則の会計

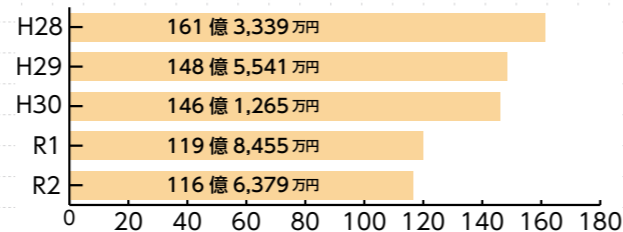
水道事業

会計名	収入	支出
収益的収支	19億932万円	16億7,333万円
資本的収支	2億3,690万円	7億3,474万円

下水道事業

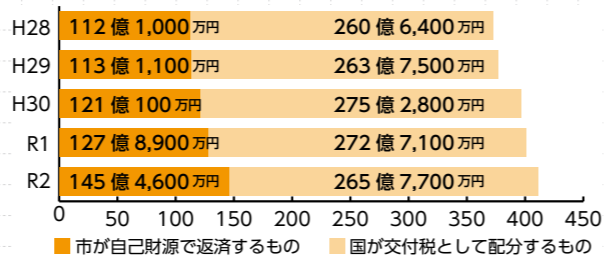
会計名	収入	支出
収益的収支	9億544万円	7億7,093万円
資本的収支	7億3,301万円	9億7,901万円

市の積立金(一般会計)の推移



用語解説 財政調整基金…災害の発生や経済の急激な悪化など税収減少に備えるもの
減債基金…市の借入の返済を計画的に行うためのもの
地域創造基金…地域振興の事業を行うために積み立てておくもの

市の借入金(一般会計)の推移



解説 どうして市債を発行するの？

市債は道路や上下水道、橋や学校などを建設する場合に発行するもの。長い期間使用する施設のため、建設したときの市民だけではなく、これから生まれてくる子どもたちや引越してくる人などにも公平に費用を負担していただくためです。

令和2年度

決算報告

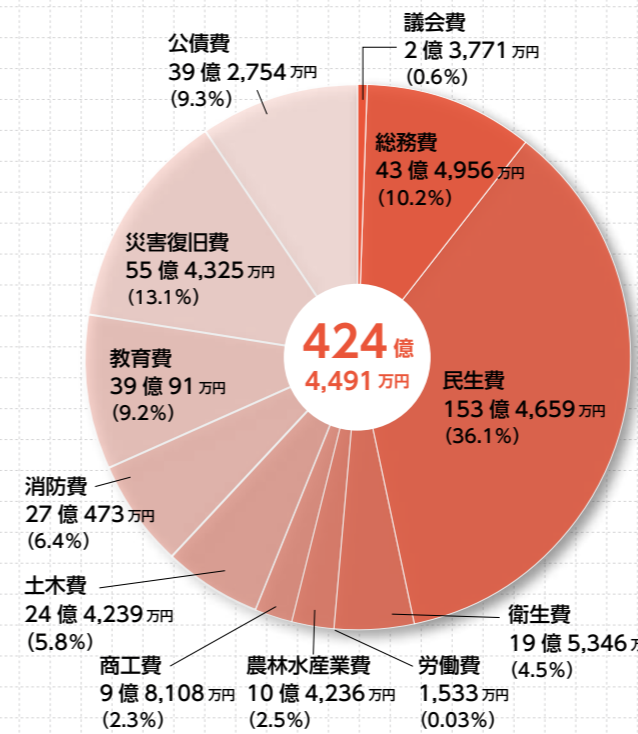
決算は皆さんが納めた市税や国・県からの補助金がいくら入ってきて、どのように使ったかをまとめた、「市の家計簿」です。令和2年度の決算をお知らせします。
☎ 財政課財政係 ☎ 575-1189

一般会計

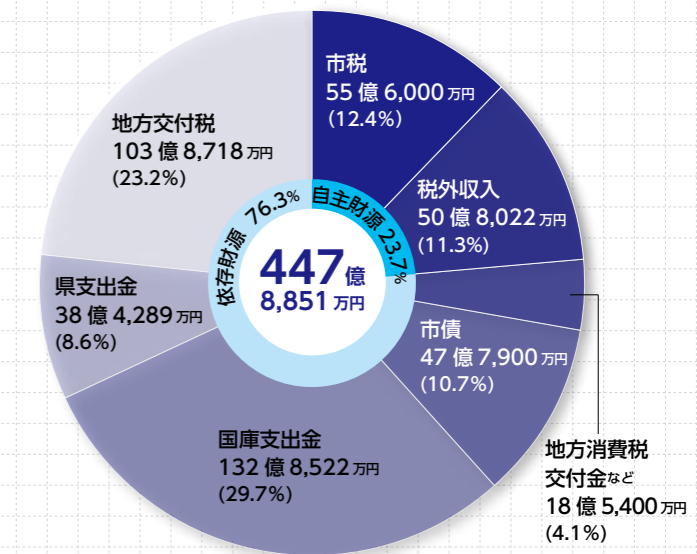
福祉や道路整備など市の行政運営の基本的な経費を計上した会計

歳出 424億4,491万円

歳入 447億8,851万円



※小数点第2位以下は四捨五入



令和2年度一般会計

歳入一歳出 …………… 23億4,360万円
R3年度への繰越 …………… 1億9,217万円
黒字額 …………… 21億5,143万円

市民1人あたりに換算すると？

- ▶支出額 72万円 (一般会計の支出総額÷人口)
- ▶貯金額 20万円 (一般会計基金÷人口)
- ▶借金額 70万円 (一般会計市債÷人口)

※ R3.3.31時点の住民基本台帳の登録人口5万8,962人で計算

新型コロナウイルス感染症対策に重点
令和2年度一般会計決算は、歳入総額447億8851万円、歳出総額424億4491万円となりました。歳入から歳出を差し引いた額は23億4360万円、そこから令和3年度への繰越分(1億9217万円)を差し引いた実質収支は、21億5143万円の黒字となりました。令和元年東日本台風の影響復旧事業、災害防犯対策事業、令和3年福島県沖地震の応急復旧事業のほか、新型コロナウイルス感染症対策として特別定額給付金給付事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した感染症対策事業、各種支援事業などを実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策に重点

令和2年度は、災害関連事業、新型コロナウイルス感染症対策事業を実施するとともに、第2次総合計画が目指す将来都市像の実現に向け、伊達小学校改築事業、放課後児童クラブ建設事業、GIGAスクール構想のための小中学校教育用コンピュータ整備事業など子育て支援の充実、相馬福島道路へのアクセス強化などの市民生活を支える交通網の充実のための道路新設改良事業、新工業団地整備の推進と市内商工業の発展のための企業誘致推進事業などを実施したほか、放射能対策事業も継続的に実施しました。

各事業の実施にあたっては、可能な限り有利な財源の確保に努め、自主財源の支出を抑えた予算執行を行

いました。また、将来の財政負担に備えて教育施設整備基金、公共施設等維持整備基金等への積み立てを行いました。

安心・安全を次世代へ

合併による普通交付税の優遇措置期間が令和2年度をもって終了しました。今後も歳入の確保に努め、歳出削減の徹底を図りながら、限られた財源を必要なら、事業に集中的に投入し、あわせて災害等の非常時に備える基金積み立てなどにも取り組みながら、健全で持続可能な財政運営を目指します。

また、災害復旧事業を着実に進めながら、市民一人ひとりが安全・安心に生活することができ、次世代に安心の輪をつなぐことができるよう防災・減災事業について重点的に取り組んでまいります。

学校教育・生涯学習のために（教育費）

タブレットを使った学習	伊達小学校改築事業
外国語指導助手配置	3,301万円
小中学校教育・校務用パソコン整備、保守管理	4億2,683万円
掛田小学校校舎耐震補強・大規模改修事業	2億9,702万円
伊達小学校改築事業	6億7,973万円

災害復旧のために（災害復旧費）

農林業施設災害復旧費	4億3,423万円
道路橋梁災害復旧費	10億8,046万円
除染対策事業	36億1,391万円
文教施設災害復旧費	6,751万円

市債の返済のために（公債費）

市債償還元金	37億1,693万円
市債支払利子	2億1,061万円

観光・商工振興のために（商工費）

中小企業制度資金貸付	1億6,560万円
商工業振興事業費（緊急経済対策事業、地域消費活性化事業）	3億7,008万円
企業誘致推進事業	1億5,916万円

道路・公園整備などのために（土木費）

高子駅北地区住宅団地整備	伊達市パークゴルフ場整備
道路新設改良	5億7,027万円
高子駅北地区住宅団地整備事業	1億1,565万円
宅地耐震化調査事業	502万円
保原総合公園拡張整備	2億8,585万円

消防設備充実のために（消防費）

非常備消防（消防団）	1億1,399万円
災害（防災）対策事業（生活環境課）	11億5,200万円
避難行動支援事業	897万円
工業団地浸水対策事業	2,699万円

健全化判断比率 5つの指標から財政状況を判断

財政状況を表す5つの指標

市の財政状況を5つの指標で表して公開しています。この指標が基準値を上回る場合、早期健全化団体、財政再生団体となります。

伊達市は**5つの指標すべてが「該当なし」「基準内」であり、健全な財政を保っています。**

比率名	令和2年度	早期健全化基準
実質赤字比率	該当なし	12.65%
連結実質赤字比率	該当なし	17.65%
実質公債費比率	7.2%	25.0%
将来負担比率	56.6%	350.0%
資金不足比率	該当なし	20.0%

用語解説

- ▶ **実質赤字比率** …一般会計に赤字がどのくらいあるかを表す指標
- ▶ **連結実質赤字比率** …全ての会計で赤字がどのくらいあるかを表す指標
- ▶ **実質公債費比率** …すべての会計で借金返済にあてる経費がどのくらいあるかを、3年間の平均値で表す指標
- ▶ **将来負担比率** …すべての会計で将来負担が見込まれる経費がどのくらいあるかを表す指標
- ▶ **資金不足比率** …すべての公営企業会計で資金不足がどのくらいあるかを表す指標

主な使い道 令和2年度に行った事業

議会活動のために（議会費）

議員報酬・手当など	1億6,637万円
-----------	-----------

公共サービス充実のために（総務費）

市民ワークショップ（シティプロモーション事業）	陣屋通りイルミネーション（地域づくり支援事業）
シティプロモーション活動事業（地方創生臨時交付金）	1,070万円
移住・定住促進事業	757万円
交通安全対策事業費（生活路線バス、デマンドタクシー、阿武隈急行補助）	1億3,100万円
地域自治組織推進事業	6,393万円
地域づくり支援事業	1億372万円

福祉・子育てのために（民生費）

特別定額給付金給付事業（地方創生臨時交付金）	59億7,709万円
放課後児童クラブ建設事業	2億1,491万円
保原認定こども園整備事業	7,466万円
認定こども園運営費・管理費	10億1,743万円
生活保護等扶助費	4億3,279万円

健康づくり・環境のために（衛生費）

元気づくり会	伊達市版ネウボラ事業
健康運動習慣化支援	2,576万円
感染症予防事業費	1億5,473万円
伊達市版ネウボラ事業	2,687万円
不妊治療費助成事業	513万円

地域の雇用づくりのために（労働費）

地域職業相談室維持管理	622万円
-------------	-------

農業振興のために（農林水産業費）

札幌市場での農産物PR	伊達市で新規就農する人を支援
鳥獣害対策事業	2,001万円
就農支援事業	1,945万円
伊達市農作物魅力発信事業	1,428万円

※一部の写真は令和3年度に撮影したものです